

国際グランドハンドリング科(1年次)教育課程(履修規程第2条別表)

区分	科目	単位数	授業時数	通年科目	半期科目		集中講義科目	定期試験の受験資格		必要修得単位
					前期	後期		講義又は演習科目	実験又は実習科目	
一般科目	ビジネスマナー	4	60	○				○		授業を履修し、試験に合格した科目(修得科目)の単位の合計が31以上であること
	S P I 対 策 - 1	2	30		○			○		
	S P I 対 策 - 2	2	30			○		○		
	キャリアプランニング	2	40			○		○		
	特 定 技 能 対 策	2	30		○			○		
	英 会 話	6	180	○				○		
	日 本 語	12	180	○				○		
専門科目	空港サービス入門	1	20				○	○		
	空港業務知識	2	30		○			○		
	カーゴハンドリング業務	4	60	○				○		
	グランドハンドリング業務	2	30		○			○		
	グランドハンドリング実習	6	180	○				○		
	フォークリフト実習	1	40				○	○		
計		46	910						31以上	

## 2026シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	国際グランドハンドリング科				開講時期	1年次	通年
授業科目名	ビジネスマナー		担当教員名	田中 あおい			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	社会人としての一般常識を身につけ、行動化できるよう挨拶や言葉遣い等マナーの基本を座学・実習を通じて学ぶ。 より良い第一印象に繋がる自己表現力の基礎を習得する。						
到達目標 (150文字程度)	なぜマナーが必要なのかを考える。 社会人として必要な行動、言葉遣い、礼儀等について座学で理解を深める。 採用試験・就業後の実務において、よりよい第一印象を発揮できる自己表現力を学び、行動化する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小レポート	取り組み姿勢			
		40%	40%	20%			
教員実務経験	エアラインにおける採用面接官						
学生へのメッセージ (150文字程度)	マナーの原点は、相手を思いやり、より良い関係を創り出すことです。社会に出てから、お客様と一緒に働く上司・仲間から愛される力を身につけましょう。就職対策にも、実務でも、プライベートでも役立つマナーを学び、心配りと共にアクティブラーニングで行動化しましょう。						
教科書	書名	ビジネスマナーの基本ルール		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	社会人に必要なマナーの基本	講義概要・修学目標説明、自己紹介(動画撮影)	
2		好印象を与えるコミュニケーションⅠ①座学・実習(第一印象の重要性)	
3		自己分析(エゴグラム)・未来像を描く	
4		好印象を与えるコミュニケーションⅠ②座学・実習(所作)	
5		好印象を与えるコミュニケーションⅠ③座学・実習(言葉遣い・敬語)	
6		情報収集(ニュース・新聞の読み方)	
7		好印象を与えるコミュニケーションⅠ④座学・実習(敬語・話し方)	小テスト
8		好印象を与えるコミュニケーションⅠ⑤座学・実習(話し方・聴き方)	
9		①～⑥振り返り 自己PR(動画撮影)	
10		手紙のマナー・ペン習字①(氏名練習)	
11	ビジネスシーンのマナー	ビジネスマナーの必要性・社会人としての心構え・名刺交換	
12		電話応対/ビジネスメール	
13		宛名書き練習	
14	グループワーク	グループディスカッション・合意形成	
15	話し方演習	話の組み立て①スピーチ作成①(自己紹介・自己PR)	
16		話の組み立て②スピーチ演習①(自己紹介・自己PR)	
17	自己分析	自己分析①	
18		面接想定質問	
19		企業研究	
20		エントリーシート・履歴書作成(作文・手書き練習)	小レポート
21		自己PR動画撮影	
22	就職活動のマナー	身分証明写真	
23		企業説明会について	
24		オンライン面接対策	
25	面接演習	好印象を与えるコミュニケーションⅡ①面接演習(第一印象づくり 入室～自己紹介)	
26		好印象を与えるコミュニケーションⅡ②面接演習(話し方 自己PR)	
27		好印象を与えるコミュニケーションⅡ③面接演習(言葉遣い 志望動機)	

回=90分	項目	内容	
28	面接演習	好印象を与えるコミュニケーションⅡ④面接演習(入室～面接～退室)	
29		好印象を与えるコミュニケーションⅡ⑤面接演習(総合演習)身だしなみ	
30		好印象を与えるコミュニケーションⅡ⑥面接演習(総合演習)身だしなみ	

## 2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	国際グランドハンドリング科				開講時期	1年次 前期	
授業科目名	SPI対策－1		担当教員名	田中 陽彦			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職試験において広く実施されている能力・適性検査対策として、非言語分野を中心にSPI3演習を実施する。 2. SPI演習を通じて、数的能力を中心に、基礎的能力の向上を図り、各種問題に対処する際の考え方を理解する。						
到達目標 (150文字程度)	現行の就職試験で実施されているSPI3の非言語分野における基礎的なレベルの能力の定着を図る。基礎的なレベルの能力の定着を図り、確実な点数取得につなげることを目標とする。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート					
	100%						
教員実務経験	－						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職対策としての取り組みにとどまらず、社会人としての一般常識となる基礎能力の向上を図る意識を持って、自主的かつ積極的な取り組みを期待する。						
教科書	書名	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集2027年度版		書名	高橋書店		
	書名			書名			
参考書	書名	一般常識&SPI		書名	あつという間にまるわかり！一般常識		
	書名	あつという間にまるわかり！SPI問題集		書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	SPI対策演習	オリエンテーション(本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明)、四則演算
2		小数、分数の計算
3		方程式
4		割合・比
5		損益算
6		仕事算
7		濃度算
8		速さ
9		
10		場合の数、確率
11		命題
12		集合
13		推論
14		判断推理
15		総合演習問題

## 2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	国際グランドハンドリング科				開講時期	1年次	後期
授業科目名	SPI対策－2		担当教員名	田中 陽彦			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職試験において広く実施されている能力・適性検査対策として、言語分野を中心にSPI3演習を実施する。 2. SPI3内容に加え、一般教養・時事問題・国内海外地理の知識を習得する。						
到達目標 (150文字程度)	現行の就職試験で実施されているSPI3の言語分野における基礎的なレベルの能力の定着を図る。また、一般教養・ニュース・地理分野への関心を高め、社会人としての基礎知識習得につなげることを目標とする。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート					
	100%						
教員実務経験	－						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職対策としての取り組みにとどまらず、社会人としての一般常識となる基礎能力の向上を図る意識を持って、自主的かつ積極的な取り組みを期待する。						
教科書	書名	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集2027年度版	書名	高橋書店			
	書名		書名				
参考書	書名	ドリル式一般常識問題集2023年度版	書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	SPI対策演習 (非言語)	オリエンテーション(本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明)、前期振り返り
2		判断推理
3		資料の読み取り
4		物流
5		ブラックボックス
6		グラフと領域
7	SPI対策演習 (言語)	空間把握
8		二語の関係、熟語の成り立ち、語句の用法
9		長文読解、文章の並べ替え
10	一般常識	時事問題・ニュース
11		ことわざ・慣用句・格言・名言
12		社会科学
13		漢字の読み書き
14		国内地理・世界地理
15	まとめ	総合演習問題

## 2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	国際グランドハンドリング科				開講時期	1年次	通年
授業科目名	キャリアプランニング		担当教員名	村山 一成			
授業形態	講義	授業時数	40	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	就職活動の前提となる全国の航空系企業の研究と志望企業選定に関わる指導、ならびに就職選考試験に求められるエントリーシート・履歴書の作成要領、及び面接対策等に関わる包括的な就職指導を行う。						
到達目標 (150文字程度)	就職活動を円滑かつ着実に進める為、全国の各企業の特徴や求められるレベルに応じた自己の改善課題を把握の上、各自の自主的かつ主体的な取り組みを進めることで、志望企業応募の準備を行うことを目標とする。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
		80%	20%				
教員実務経験	エアラインの空港実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職は専門学校入学の最大の目的であり、就職選考は人生で最も重要な節目の一つとなることを自覚の上、しっかりとした自らの意志を持って取り組み、就職に向けた着実な準備を行って頂きたい。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明
2	志望企業の研究	全国航空系企業の研究
3	エントリーシートの準備・作成	エントリーシート①: 自己分析
4		エントリーシート②: 自己PR
5		エントリーシート③: 志望動機
6		エントリーシート④: エントリーシート演習
7		エントリーシートまとめ
8	履歴書の準備・作成	履歴書①
9		履歴書②
10		履歴書まとめ
11	面接対策	面接対策①
12		面接対策②
13		面接対策③
14		面接対策④
15		面接対策⑤
16		面接対策⑥
17		面接対策⑦
18		面接対策⑧
19	フォローアップ	上記各課題のフォローアップ
20	まとめ	本講義の総括

## 2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	国際グランドハンドリング科				開講時期	1年次 前期	
授業科目名	特定技能対策			担当教員名	1年担任		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空分野に関する相当程度の知識や経験が必要な技能を持っているとされる特定技能1号を取得することで、最長5年にわたって継続的に日本で働き続けることを目指す。特定技能試験日程を随時確認し、計画的に応募・受験することにより早期に資格を取得するため、過去問題集による事前対策を徹底する。						
到達目標 (150文字程度)	就職活動を円滑かつ着実に進める為、外国人留学生に対する「特定技能1号」の在留資格を取得する。その結果、各自の自主的かつ主体的な取り組みを進めることで、志望企業応募の準備を行うことを目標とする。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
		80%	20%				
教員実務経験	エアラインの空港実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職は専門学校入学の最大の目的であり、就職選考は人生で最も重要な節目の一つとなることを自覚の上、しっかりとした自らの意志を持って取り組み、就職に向けた着実な準備を行って頂きたい。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明
2	特定技能資格を知る	特定技能資格とは
3		日本で働くためには
4		特定技能試験対策①
5		特定技能試験対策②
6		特定技能試験対策③
7		特定技能16分野と技能試験
8		技能試験の合格ポイント
9		特定技能1号航空分野
10		特定技能2号航空分野
11		特定技能試験対策④
12		特定技能試験対策⑤
13		特定技能試験対策⑥
14		特定技能試験対策⑦
15	まとめ	本講義の総括

## 2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	国際グランドハンドリング科				開講時期	1年次 通年	
授業科目名	英会話			担当教員名	ORIBE Bryn / Guillemot Rachel		
授業形態	講義	授業時数	180	単位数	6	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	A variety of reading exercises, consisting of differing topics and situations, to strengthen and inspire student confidence. A variety of written exercises and lecture topics, beginning with elementary grammar, advancing as students progress. Building vocabulary sets, beginning with nouns, verbs and adjectives. Thereafter, moving to set phrases.						
到達目標 (150文字程度)	To increase student reading & listening ability, and language comprehension, to increase their ability to communicate in English. A variety of reading exercises, consisting of differing topics and situations, to strengthen and inspire student confidence. This class includes a Grammar component.						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート					
		100%					
教員実務経歴	Bryn: 日本での英語指導歴20年(対象は幼児から成人まで) Rachel: フランスでの高校教員免許「英語」保有、日本では英語指導歴7年						
学生へのメッセージ (150文字程度)	Developing reading & listening skills is a leap towards mastering English. Grammar is essential to language, and it is not as difficult as you think! English vocabulary is like Lego, once you understand the “blocks” you can make what you wish!						
教科書	書名	オリジナルプリント教材			書名		
	書名				書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1-3	各テーマにつき 以下を実施 (30テーマ×3コマ)  1. 会話の実践と応用 2. 文法解説 3. 語彙習得  進捗に応じて ・小テスト ・英字新聞の読解練習	家と部屋
4-6		職業
7-9		交通機関
10-12		外見(人の形容)
13-15		場所
16-18		映画
19-21		音楽
22-24		カレンダー
25-27		天候
28-30		頻度(回数)
31-33		興味のあること
34-36		道の聞き方
37-39		冬(季節)
40-42		外国人との会話の始め方
43-45		緊急事態対応
46-48		天気の説明
49-51		楽しみ
52-54		週末の出来事
55-57		飛行機旅行
58-60		時間
61-63		電車・地下鉄
64-66		学校
67-69		街
70-72		注文
73-75		外食
76-78		事務所

回=90分	項目	内容
79-81	各テーマにつき 以下を実施 (30テーマ×3コマ)	お手伝い
82-84	1. 会話の実践と応用 2. 文法解説 3. 語彙習得	買い物
85-87	進捗に応じて ・小テスト	近況
88-90	・英字新聞の読解練習	病気

## 2026年 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	国際グランドハンドリング科				開講時期	1年次	通年
授業科目名	日本語		担当教員名	橋本 拓子			
授業形態	講義	授業時数	180	単位数	12	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	日本語能力検定(N3)レベルの語彙・聴解・文法・読解能力を養い、空港に於けるグランドハンドリング業務で求められる日本語力のボトムアップを図る						
到達目標 (150文字程度)	日本企業で働く際に求められる日本語能力検定N3合格、または同等レベル習得を目標とする						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	課題	取り組み姿勢			
	50%	0%	20%	30%			
教員実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	新たなレベルに挑戦するのは簡単なことではありませんが、「あ！分かった！」と少しずつ理解できる楽しさを共に学んで行きましょう。						
教科書	書名	文法Buddy JLPT日本語能力試験N2		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
1～2	導入	日本語クラスの進め方 / 授業目標などの概要説明 / 自己分析 / レディネス調査
3～4	実力試験	「言語知識・読解・聴解」N3 模擬問題
5～8	試験FB	模擬試験のフィードバック・問題の傾向と対策
9～12	教科書【第1課】	語彙確認 / 文法導入・文法確認 / 読解問題 / 文法問題 / 聴解問題 / まとめ
13～16		文法「ものなら」「ものの」「にもかかわらず」「～と…た・」「…というか」「～ことは…が」「ことか」「みたい」
17～20	教科書【第2課】	語彙確認 / 文法導入・文法確認 / 読解問題 / 文法問題 / 聴解問題 / まとめ
21～24		文法「つつある」「ざるを得ない」「をめぐって」「まで」「がたい」「からすると」「に基づいて」「ようがない」
25～28	教科書【第3課】	語彙確認 / 文法導入・文法確認 / 読解問題 / 文法問題 / 聴解問題 / まとめ
25～28		文法「ようではないか」「反面」「をもって」「からして」「ようでは」「にあたって」「こと」「もので」
29～32	教科書【第4課】	語彙確認 / 文法導入・文法確認 / 読解問題 / 文法問題 / 聴解問題 / まとめ
33～36		文法「ようとしている」「に…しては」「とみえる」「ずじまい」「のことだから」「てたまらない」「につけ」「かねる」
37～40	教科書【第5課】	語彙確認 / 文法導入・文法確認 / 読解問題 / 文法問題 / 聴解問題 / まとめ
41～44		文法「とばかりに」「までのことだ」「たところで」「とあれば」「どこか」「だけ」「上は」「～に～ない」
45～48	教科書【第6課】	語彙確認 / 文法導入・文法確認 / 読解問題 / 文法問題 / 聴解問題 / まとめ
49～52		文法「にわたって」「にしても」「といった」「あげく」「どこではない」「さえ」「なんか」「～だの～だの」
53～56	教科書【第7課】	語彙確認 / 文法導入・文法確認 / 読解問題 / 文法問題 / 聴解問題 / まとめ
57～60		文法「に限って」「に限って(2)」「限り」「ずにはいられない」「にかけては」「に沿って」「はさておき」「まい」

回=90分	項目	内容
61～64	教科書【第8課】	語彙確認 / 文法導入・文法確認 / 読解問題 / 文法問題 / 聴解問題 / まとめ
65～68		文法「しかない」「ものか」「ようが」「一方だ」「ことなく」「というものではない」「にかかわらず」「こととなると」
69～72	教科書【第9課】	語彙確認 / 文法導入・文法確認 / 読解問題 / 文法問題 / 聴解問題 / まとめ
73～76		文法「わりに」「かと思うと」「もかまわず」「に違いない」「てしょうがない」「向き」「に対して」「に他ならぬ」
77～80	教科書【第10課】	語彙確認 / 文法導入・文法確認 / 読解問題 / 文法問題 / 聴解問題 / まとめ
81～84		文法「～やら…やら」「はもとより」「ことに」「までもない」「ものがある」「きり」「のみならず」「や否や」
85～86	教科書【第11課】	語彙確認 / 文法導入・文法確認 / 読解問題 / 文法問題 / 聴解問題 / まとめ
87～88		文法「のもとで」「げ」「というより」「かねない」「ことだし」「に決まっている」「上で」「を通して」
89～90	教科書【第1～11課】	全11課の語彙・文法の振り返り / 総括

## 2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	国際グランドハンドリング科				開講時期	1年次	集中
授業科目名	空港サービス入門		担当教員名	森 久見子 ・ エアポートサービス科全常勤教員			
授業形態	講義	授業時数	20	単位数	1	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. エアポートサービス科/国際グランドハンドリング科で受講する講義概要(スケジュール・内容)について各担当教員が説明を行う 2. エアポートサービス科/国際グランドハンドリング科で取得を目指す資格の概要と必要な知識について説明を行う 3. 航空業務の基礎知識(国内空港3レター・航空会社2レター)を習得する						
到達目標 (150文字程度)	エアポートサービス科/国際グランドハンドリング科の授業カリキュラム全体の構成と各科目の位置づけを理解し、就職先企業で必要となる航空専門知識・技量を身につけることの重要性を理解する						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	知識確認ワーク	100%			
教員実務経験	エアライン実務業務						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空専門の基礎知識を最初に確実に身につけ、その後の授業や就職の成果に直結させましょう。就職先企業での早期研修までに最短で1年半の短期間となる実情をふまえ、集中して取り組んでください。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	ガイダンス・学科概要	A科/G科全体概要説明・エアポートサービス科担当教員紹介	田中希
2	各コース概要	CA・GSコース全体概要と航空業務の基礎知識	森
3		GHコース/G科全体概要	村山
4	履修授業概要	各教員担当科目説明①	田中希
5		各教員担当科目説明②	田中陽
6		各教員担当科目説明③	村山
7		各教員担当科目説明④	森
8		各教員担当科目説明⑤	田中あ
9		知識確認ワーク	森
10	実習場紹介	モックアップ教室、グランドハンドリング実習場紹介	村山/森

## 2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			
学科・コース名	国際グランドハンドリング科			開講時期	1年次 前期
授業科目名	空港業務知識		担当教員名	森 久見子	
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2
				選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空会社の業務全体像を理解し、航空会社の各職種(主にキャビンアテンダント・グランドスタッフ・グランドハンドリング)に関する基礎的な業務知識や航空保安、航空機利用の流れ、国内各空港の特色や地域特性を学ぶ				
到達目標 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空機の運航に携わる様々な職種と業務内容を学び、職種間、部署間のチームワークの重要性を理解する</li> <li>航空関連の基礎知識を身につける</li> </ul>				
評価方法	定期試験		その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	ワーク		
	50%		50%		
教員実務経歴	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務および業務管理				
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空業界は様々な職種のチームワークで安全第一のオペレーションを実現しています。各自が目指す職種のみにとどまらず幅広い職種に関心を持ち、またすべての職種のベースとなる航空保安の基礎を理解してください。				
教科書	書名	エアラインオペレーション入門		書名	
	書名			書名	
参考書	書名			書名	
	書名			書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	航空機の利用	ガイドンス、飛行機利用の流れ、航空券の予約
2	職種別理解	グランドスタッフ業務概要
3		グランドハンドリング業務概要
4		キャビンアテンダント業務概要
5	空港施設	空港の様々な施設を知る、CIQとは
6	航空保安	不法妨害行為、航空機事故を起こさないために、保安検査、クリーンエリア、ダーティーエリア
7	国内エアライン	国内エアラインの拠点、ハブ空港
8	アライアンス	世界の三大アライアンス、FFPの理解
9	運航を支える業務	空港ハンドリング会社の業務(カーゴ、オペレーション)
10	校外研修準備	校外研修事前学習
11	校外研修振り返り	校外研修振り返り
12	国内空港の特色	国内各地域の空港、特色
13	GH業務理解	グランドハンドリング企業講話
14	航空貨物	航空貨物企業講話
15	まとめ	本講義振り返り、総括

## 2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目	
学科・コース名	国際グランドハンドリング科	
開講時期	1年次	通年
授業科目名	カーゴハンドリング業務	担当教員名 富田 明浩
授業形態	講義	授業時数 60
	単位数	4
	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空貨物におけるグランドハンドリング部門での貨物取扱方法やハンドリング方法の基礎知識の習得	
到達目標 (150文字程度)	就職後、貨物上屋におけるハンドリング内容知識の習得と企業研修時における内容の理解	
評価方法	定期試験	その他の評価方法
	筆記試験 80%	レポート 取り組み姿勢 20%
教員実務経験	航空会社におけるグランドハンドリング部門での業務経験	
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職後の研修内容を事前に理解し、早期に一人立ちするために専門用語や職場での何故を少しでも減らすことが出来ると考えます。時には実習場にて実物を使い教育を実施するため、聞いて、見て、体験型の授業となります。	
教科書	書名	エアカーゴマニュアル
	書名	
参考書	書名	
	書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	航空貨物について	航空貨物について理解する。
2	航空貨物ハンドリングとは	航空貨物を搭載するための積み付けから到着後の貨物の流れを理解する。
3		
4	航空貨物専門用語	航空貨物業界にて使用される専門用語を理解する。
5	輸送器材(ULD)	積み付け用の器材(ユニットロードデバイス)の取り扱いを理解する。
6	航空貨物必要書類	航空貨物運送、輸出申告、乗り継ぎ貨物に関わる書類の搬入に関わる書類を理解する。
7	航空貨物積み付け	航空貨物を積み付けるにあたっての基本を理解する。
8		
9	航空機の搭載制限	航空機各機種ごとの搭載制限について理解する。
10	輸出入貨物の流れ	航空機で輸送される輸出入貨物の流れを理解する。
11	搭載、取降し指示書	航空機別の搭載、取降し時の指示書の内容を理解する。
12	航空郵便ハンドリング	航空機に搭載される郵便物の種類や取り扱い上の注意点を理解する。
13	航空危険物の輸送	航空機に搭載するときの危険物の取り扱い方法や注意点を理解する。
14	貨物機ハンドリング	貨物専用機のハンドリングについて理解する。
15	特殊貨物ハンドリング	超精密機械、重量物、長尺物に関するハンドリング時の表示ラベルの見方や基本搭載方法を理解する。
16	中間まとめ	航空貨物輸送におけるハンドリングに関するまとめ
17	復習	中間期までに習った航空貨物ハンドリングの内容を中心に理解度を確認。
18	タイダウン	航空機貨物室内にて必要なタイダウンについて現物を使用し施せるようにする。
19		
20	貨物容積計算方法	予約情報から積み付けをする際の貨物容積の算出方法を理解し、必要な機材、器の準備が出来るようにする
21		
22	貨物積み付け	ダミー貨物を使用し、容量計算及びULDへの積み付けを実施する。
23		
24	特殊貨物ハンドリング	積み付け貨物ラベルによる表示の見方、取り扱い時の注意点を理解し、特殊貨物(重量物や長尺物)の積み付けから航空機への搭載方法を理解する。
25		
26		
27	貨物積み付け応用編	貨物の重量分散方法と搭載位置決定までの流れについてを理解する。
28		搭載貨物の航空機内への様々な固定方法について理解する。搭載貨物のネーティング方法や固定器具の強度を理解する。
29	貨物上屋作業での安全	貨物を取り扱う上屋作業での人身事故、貨物破損事故、等の不具合を防ぐための安全作業とはを理解する。
30	総まとめ	航空貨物輸送におけるハンドリングに関するまとめ。

## 2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	国際グランドハンドリング科				開講時期	1年次	前期
授業科目名	グランドハンドリング業務	担当教員名	田中 陽彦				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空機の機側で行われるグランドハンドリング業務の理解、航空業界の専門用語、取扱機・器材等に関する事について学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)	グランドハンドリング業務を行う上での基礎的な知識と安全にハンドリングするための基礎を習得する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	80%		20%				
教員実務経験	グランドハンドリング業務実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	グランドハンドリング業務を目指し、携わる者として身に付けておく知識を積極的に吸収する。						
教科書	書名	航空機のグランドハンドリング	書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	グランドハンドリング	グランドハンドリング業務会社の設立経緯と発展及び現状のグランドハンドリング業務の範囲について
2	概要	グランドハンドリング業務が到着便及び出発便の中でどのような場面に関りがあるのかについて
3	業界用語基礎	航空業界で使用されているIATAコード/ICAOコード(空港コード・航空会社コード・航空機コード)の意義と重要性について
4		航空機に使用されるULDの種類とタイプ・用途およびIATA IDコード・IATAコードについて
5	航空機地上支援機材	搭降載作業にて直接航空機に関わる地上支援機材の種類と用途について
6		搭降載作業にてULD等を搬送するための器材の種類と用途及び取扱上の注意点について
7		各航空機の貨物室概要とULD搭載方法について
8	搭載・取り卸し関連知識	旅客便と貨物便の危険物輸送の相違点について
9		各航空会社の搭載計画書および取り卸し指示書の見方と記載内容について
10	搭載・取り卸し作業	指示書を基に搭載/取り卸し作業の手順と注意すべき点について
11		各機種の出発便作業/到着便作業の手順と関係する付帯作業について
12		バルク搭載/取り卸し作業時における注意点と着眼点およびロードマスター業務の概要について
13	安全知識	ランプ内において作業を行う際の安全と搭降載作業時の品質管理の考え方について
14		空港内での車両を運転する際の規則について(東京国際空港制限区域内車両安全運転教本)
15	まとめ	総括

## 2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目	
学科・コース名	国際グランドハンドリング科	
開講時期	1年次	通年
授業科目名	グランドハンドリング実習	担当教員名 田中 陽彦・村山 一成・富田 明浩・田中 敏・熊澤 成弘
授業形態	演習	授業時数 180 単位数 6 選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内におけるグランドハンドリング業務全般の実技及び車両機材の走行、操作における基礎知識の習得	
到達目標 (150文字程度)	車両の点検、特性を理解し、トーイングトラクターの運転から、パレットドリー、コンテナドリーのけん引操作の取り扱いを習得する。	
評価方法	定期試験	その他の評価方法
	筆記試験：レポート	実技試験 90% 座学試験 10%
教員実務経験	航空会社におけるグランドハンドリング業務経験	
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港における機側周りで使用される本物の車両、器材を専用実習場にてより実践に近い形で習得します。	
教科書	書名	航空機のグランドハンドリング
	書名	
参考書	書名	教員作成のグランドハンドリングテキスト
	書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1～20	トーイングトラクター (TT車)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TT車の性能諸元や特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解する。</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>走行前の保守点検方法を理解し、点検用紙の記入方法を学ぶ。</li> <li>TT車特有の機能、取り扱いの基礎を理解する。(左ハンドル、連結機能の仕組み、ディーゼルエンジンの始動方法)</li> <li>GH実習場内のコースを単独にて走行が出来るようにする。</li> <li>車両誘導方法を理解する。</li> </ul>
21～60	パレットドリー (PD)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大型貨物を搬送に使用するパレットを移動するためのPDの諸元や特性、取り扱い上の注意点を理解する。</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外観からブレーキ機能、タイヤチョーク、パレットスッパ、ローラーの著しい損傷がないかの点検を実施。</li> <li>取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。</li> <li>PDを連結する訓練、前進時の内、外輪差や走行時の特性を理解した上での走行が出来るようにする。</li> <li>PDを連結し、後進時のハンドル操作が思うように出来るようにする。</li> <li>ハリフトローターへのPD装着が出来るようにする。</li> <li>空パレットドリー同士の連結と誘導</li> <li>搭載パレットドリー同士の連結と誘導</li> </ul>
61～75	コンテナドリー (CD)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手荷物や小型貨物を搬送するためのコンテナを移動するためのCDの諸元や特性、取り扱い上の注意点を理解する。(パレットドリー座学時に同時に説明)</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外観からブレーキ機能、タイヤチョーク、コンテナスッパ、ローラーの著しい損傷がないかの点検を実施。</li> <li>取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。</li> <li>CDを連結し、前進時の内輪差、外輪差、走行時の特性を理解した上での走行が出来るようにする。</li> <li>CDを連結し、ハリフトローターへの装着が出来るようにする。</li> </ul>
76～79	航空機誘導 (MAS)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>航空機誘導信号の理解と解説、緊急時の判断要領と処置方法の習得</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種誘導信号の反復練習にて明確な信号が出来るようにする。</li> <li>車両を使用して誘導信号全般、判断力を習得する。</li> </ul>
80～85	フォークリフト復習 (FL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FL車の走行に関する装置の構造及び取り扱いの方法に関する知識の再確認</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FL車の始業点検説明</li> <li>空荷走行(前進、後進)、荷役作業</li> </ul>
86～90	緊急離脱方法の理解 (HL、BL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各車両タイプごとの故障判断方法と、離脱実施方法の知識習得</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全確認のポイントと各車両タイプでの緊急離脱要領、牽引方法</li> </ul>

## 2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	国際グランドハンドリング科				開講時期	1年次	集中
授業科目名	フォークリフト実習		担当教員名	村山 一成 ・ 日本ライン自動車学校 ・ A科GH、G科担当教員			
授業形態	演習	授業時数	40	単位数	1	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	フォークリフト実習運転技能講習を受講し、(限定の付かない1t以上)フォークリフトの運転操作技術を習得し、資格取得試験に合格する。(また航空業界で活用するための基本操作をグランドハンドリング担当教員にて教育する。)						
到達目標 (150文字程度)	フォークリフトの走行、操作技術の資格(フォークリフト技能講習修了証)を習得する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	学内技能審査	資格取得			
		40%	30%	30%			
教員実務経験	航空会社におけるグランドハンドリング業務経験教員						
学生へのメッセージ (150文字程度)	自動車学校にて行われるフォークリフト荷役講習を受講し、1t以上のフォークリフトを扱える資格を習得を目指す。学校内にてフォークリフトを運転、操作するため訓練を行います。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名	教員作成のグランドハンドリングテキスト		書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~2 (午前)	フォークリフト (座学)	【座学】日本ライン講師
		・FL車の走行に関する装置の構造及び取り扱いの方法に関する知識の習得。
		・運転に必要な力学の関連知識並びに関係法令
3~5		・学科試験
6		
7~20	フォークリフト (実技)	【実技】日本ライン講師
		・FL車の始業点検説明
		・空荷走行(前進、後進)
		・走行と荷役作業
		・実技試験
*講習会終了後、別日に学校内にて受講した内容の知識、技能を確認します。(校内グラハン実習講師)		